

## 教育方法25 戦後50年、いま学校を問い直す

I	戦後50年、いま学校を問い直す	
一	戦後50年、いま学校を問い直す—戦後学校改革の流れのなかで—	杉山 明男
二	「ちがえる」と「聞き上手」と	中野 重人
三	教育固定の原理・機制を現場に問う	中村 亨
四	—意思決定機関としての学校を希求して—	
II	学校論・教育課程論からみた戦後50年	水内 宏
一	「指導」概念の再構成—「支援」「援助」との関係で	
二	指導概念を問う—生活指導本来の支援的性格—	折出 健二
三	生活科の「支援」の特質とその教育的意義	高浦 勝義
III	「支援」概念の検討	二杉 孝司
一	「居場所」概念の教育方法学的検討	
二	異質共存・共同と居場所づくり	藤原 幸男
IV	学習の場を中心として	武藤 文夫
一	学校週五日制と教育課程編成の課題	
二	—現行指導要領の何をこそ改訂すべきか—	
三	学校週五日制に対応する編成原理は学校観の質的変換である	小川 博久
四	学校週五日制をふまえた現行学習指導要領改訂の原則	的場 正美
V	生活主義の払拭を	森分 孝治
一	教育におけるコンピュータ利用の新しい方向	
二	コンピュータは教室に何をもたらすのか	
三	—コンピュータを用いた授業を対象とした観察研究と分析の必要性—	大谷 尚
四	マルチメディア時代の教師の役割	木原 俊行
五	マルチメディアと教育方法の改善	篠原 文陽児